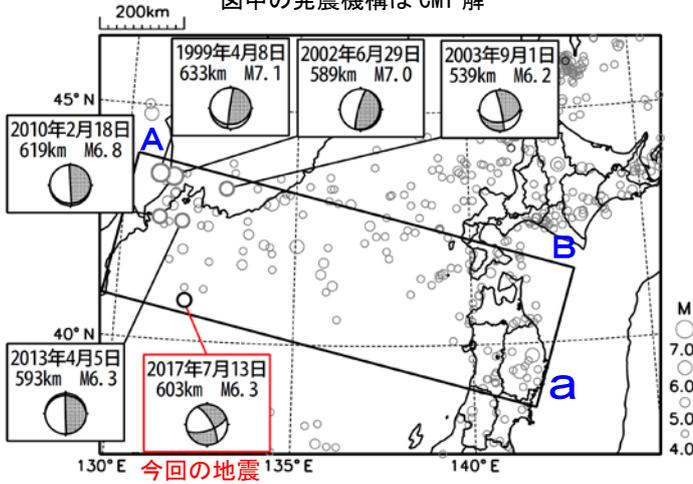
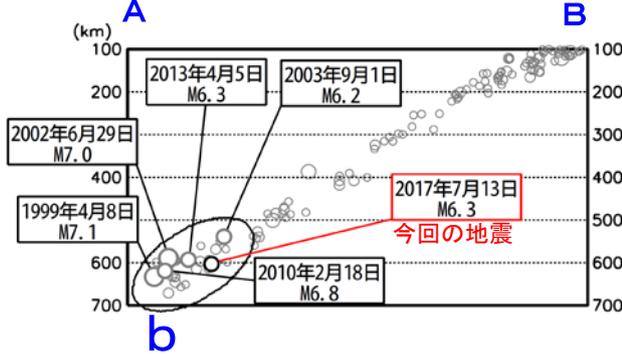


# 7月13日 日本海西部の地震

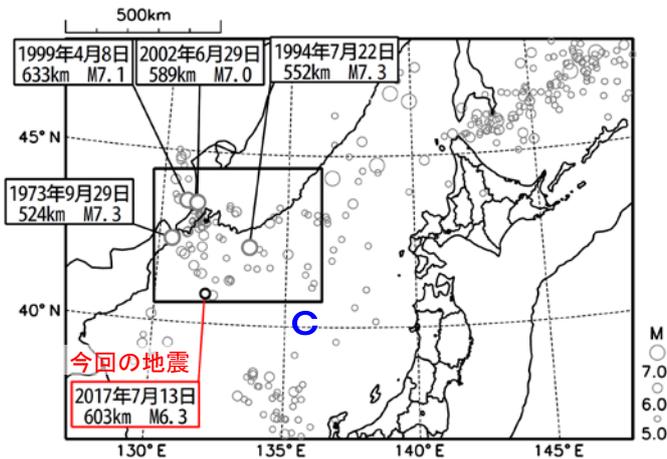
震央分布図  
(1997年10月1日～2017年7月31日、  
深さ100～700km、 $M \geq 4.0$ )  
2017年7月の地震を濃く表示  
図中の発震機構はCMT解



領域a内の断面図（A-B投影）



震央分布図  
(1923年1月1日～2017年7月31日、  
深さ300～700km、 $M \geq 5.0$ )  
2017年7月の地震を濃く表示

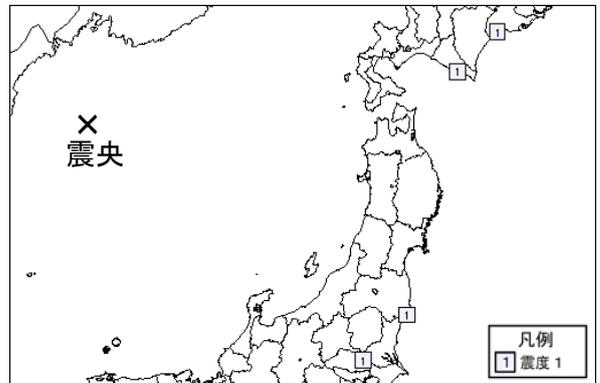


2017年7月13日04時48分に日本海西部の深さ603kmでM6.3の地震（最大震度1）が発生した。この地震は太平洋プレートの内部で発生した。発震機構は太平洋プレートの沈み込む方向に圧力軸を持つ型である。太平洋プレートの深部で発生した地震では、しばしば東日本の太平洋側を中心に震度1以上を観測することがあり、この地震でも同様の傾向がみられた。

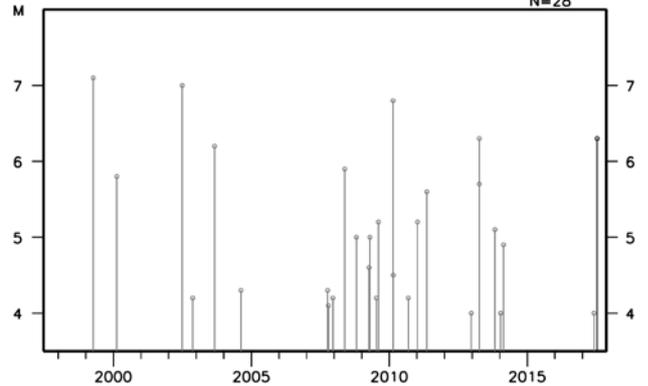
1997年10月以降の領域b内の活動をみると、M6を超える地震が数年に1回程度発生しており、日本国内で震度2～1を観測している。

1923年1月以降の領域c内の活動をみると、M7.0以上の地震が4回発生しており、1994年7月22日の地震（M7.3）では、東日本を中心に広い範囲で震度3～1を観測した。

震度分布図（観測点別）



領域b内のM-T図



領域c内のM-T図

